

### 第3章 「健康たかおか輝きプラン（第2次）」の評価

#### 1 「健康たかおか輝きプラン（第2次）」における取組の評価

健康たかおか輝きプラン（第2次）では、「健康寿命の延伸」と「生活の質の向上」を基本目標とし、3つの重点取組（①望ましい生活習慣の確立と生活習慣病の発症予防、②生活習慣病の重症化予防、③住む人が健康になるまちづくり）のごとに、全70項目の目標値を設定しています。今回、計画策定時の基準値と最新値を比較して評価を行いました。

重点目標 … 項目番号に○がついている目標  
 基準値 … 平成28年の値  
 最新値 … 令和4年の値または令和4年度高岡市健康・栄養調査結果  
 または記載している年度の実績値

#### 目標の達成状況

評価		健康寿命の延伸	栄養・食生活	身体活動・運動	歯の健康	タバコ	心の健康・休養	次世代の健康	高齢期の健康	人とのつながり	がん	COPD 循環器・循環器・	住む人が健康になる まちづくり	計
◎	最新値が目標に達している				1	3		2	2	1		2	5	16
○	最新値が目標に達していないが、基準値より改善している		1	3	1	2	1		1		6		1	16
△	最新値が基準値より改善していない、または変化していない	2	9	4		4	1	3	1	2	4	6	2	38
項目数		2	10	7	2	9	2	5	4	3	10	8	8	70

70項目について、32項目（45.7%）で目標達成及び改善しました。

## (1) 健康寿命の延伸

項目	基準値	最新値	目標	達成状況
1 男性	79.49 歳	78.49 歳	延伸	△
2 女性	83.71 歳	83.67 歳	延伸	△

最新値の健康寿命は、基準値と比較して男性が1歳、女性が0.04歳短縮しました。健康寿命が短縮した理由は、死亡率の変化による影響が大きいと推測されます。死亡率の変化の要因を探るためには死因別の標準化死亡比を観察することが必要であり、令和4年の人口動態統計が公表され次第検討します。

## (2) 望ましい生活習慣の確立と生活習慣病の発症予防

### ① 栄養・食生活

項目	基準値	最新値	目標	達成状況	
3 朝食をとらない人の割合の減少(20～39歳)	男性	22.1%	30.3%	18%	△
	女性	12.2%	16.2%	9%	△
5 野菜を必要量(350g)食べている人の割合の増加	—	49.5%	45.7%	60%	△
6 肥満の人の割合の減少(40～74歳)	男性	30.7% (平成27年)	34.4% (令和3年)	減少	△
	女性	19.3% (平成27年)	21.6% (令和3年)	減少	△
8 やせている女性の割合の減少(20～29歳)	—	31.1%	22.7%	15%	○
9 塩分に気をつけている人の割合の増加	男性	15.8% (平成30年)	15.3%	増加	△
	女性	28.7% (平成30年)	22.9%	増加	△
11 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少	男性	17.1%	17.6%	13%	△
	女性	8.8%	9.6%	6.4%	△

- ・朝食をとらない人の割合が増加しています。(項目 No 3、4)
  - ・野菜を必要量食べている人の割合が減少しています。(項目 No 5)
  - ・肥満の人の割合が増加しています。(項目 No 6、7)
  - ・やせている女性の割合は減少しています。(項目 No 8)
  - ・塩分に気をつけている人の割合が減少しています。(項目 No 9、10)
- 引き続き、食育活動や相談会、教室を通し、バランスの良い食事の摂取や望ましい食習慣につなげるための情報発信や普及啓発を行っていく必要があります。また、食生活改善推進員などボランティア団体の知識・技術の向上を図っていく必要があります。

## ② 身体活動・運動

項目		基準値	最新値	目標	達成状況	
13	健康づくりのためにからだを動かしている人の割合の増加	-	62.0%	65.9%	70%	○
⑭ ⑮	日常生活における歩数の増加(20～64歳)	男性	6,235歩	6,161歩	7,000歩以上	△
		女性	5,338歩	5,149歩	6,000歩以上	△
⑯ ⑰	運動習慣者の割合の増加(20～64歳)	男性	25.0%	28.2%	36%	○
		女性	17.3%	19.4%	33%	○
18	公共交通の利用者数の増加	-	25,047人	20,827人	25,430人	△
19	体育施設の利用者数の増加	-	844,951人	587,709人	878,850人	△

- ・健康づくりのためにからだを動かしている人の割合は増加しています。(項目 No13)
  - ・運動習慣者の割合が増加しています。(項目 No16、17)
- 引き続きウォーキング教室や歩こう会の地域ぐるみの活動などにより、グループまたは一人で気軽に楽しみながら運動する習慣を身につけることができる動機付けや、一日の歩数を増やす取組や普及啓発をする必要があります。

## ③ 歯の健康

項目		基準値	最新値	目標	達成状況
20	「自分の歯は24本以上ある」と答えた人の割合の増加(60～69歳)	48.9%	56.3%	65%	○
⑳	過去1年間に歯科検診を受診した人の割合の増加	25.1%	34.5%	28%	◎

- ・過去1年間に歯科検診を受診した人の割合が増加しています。(項目 No21)
- 引き続き、歯周病検診や妊婦歯科健康診査の受診勧奨、歯の健康に関する知識の普及啓発が必要です。

#### ④ タバコ

項目		基準値	最新値	目標	達成状況	
②②	喫煙率の低下	男性	31.2%	23.3%	27%	◎
②③		女性	4.7%	4.8%	3%	△
24	妊娠中の喫煙率の低下	-	1.7%	1.7%	0%	△
25	喫煙が健康に及ぼす影響についての知識を持つ人の割合の増加	心臓病	53.5%	54.7%	80%以上	○
26		脳卒中	59.7%	61.3%	80%以上	○
27		歯周病	51.9%	47.1%	80%以上	△
28		糖尿病	21.7% (平成30年)	31.9%	増加	◎
29	受動喫煙が健康に及ぼす影響についての知識を持つ人の割合の増加	子どもの喘息既往	70.7% (平成30年)	70.5%	増加	△
30		乳幼児突然症候群(SIDS)	48.7% (平成30年)	49.0%	増加	◎

- ・男性の喫煙率が低下しています。(項目 No22)
  - ・喫煙者の割合が依然、県内市町村に比較して高い状況です。
- 引き続き SNS による情報発信やショッピングセンターでのリーフレット配付など、喫煙や受動喫煙の影響について幅広い世代に向け、普及啓発する必要があります。また、妊産婦や子どもなど喫煙の影響が強く出やすいハイリスクな対象者の喫煙・受動喫煙の防止についてさらに普及啓発を行う必要があります。

#### ⑤ 心の健康・休養

項目		基準値	最新値	目標	達成状況
③①	睡眠による休養を十分とれていない人の割合の減少	18.1%	15.9%	15%	○
32	ストレス解消を行っている人の割合の増加	67.7%	65.3%	70%	△

- ・睡眠による休養を十分とれていない人の割合は減少しています。(項目 No31)
  - ・ストレス解消を行っている人の割合は改善が見られていません。(項目 No32)
- 今後も心の健康に関する知識の普及啓発とともに、相談先の周知、地域で支える体制づくりが必要です。

## ⑥ 次世代の健康

項目			基準値	最新値	目標	達成状況
33	3歳児でむし歯のない子の割合の増加	-	80.9%	91.3%	増加	◎
34	12歳児の一人平均むし歯数の減少	-	1.25本	0.57本	1.0本未満	◎
35	10歳(小学5年生)の肥満傾向児の割合の減少	-	7.9%	13.0%	7%	△
36 37	小児生活習慣病予防健診において異常なしと判定を受けた児童生徒の割合の増加	小学4年生	61.9%	59.4%	70%以上	△
		中学1年生	64.3%	56.0%	75%以上	△

- ・ 3歳児でむし歯のない子の割合は増加しています。(項目 No33)
  - ・ 12歳児の一人平均むし歯数は減少しています。(項目 No34)
- 今後も妊娠期から機会を捉えて、歯の健康づくりについて啓発を続けていく必要があります。
- ・ 10歳(小学5年生)の肥満傾向児の割合が増加しています。(項目 No35)
  - ・ 小児生活習慣病予防健診において異常なしと判定を受けた児童生徒の割合は減少しています。(項目 No36、37)
- 児童生徒が食事や運動、生活リズムなどの生活習慣の改善を家庭で実践できるよう、保護者への啓発とあわせて取り組む必要があります。

## ⑦ 高齢期の健康

項目		基準値	最新値	目標	達成状況
38	要介護2以上の人の割合の減少(80～84歳)	13.4%	12.8%	減少	◎
39	低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の減少	17.1%	18.6%	減少	△
40	住民主体の通いの場への65歳以上の人の参加割合の増加	2.5%	3.1%	高齢者人口の10%	○
41	認知症サポーター養成数の増加	14,538人	21,549人	20,000人	◎

- ・ 低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合が増加しています。(項目 No39)
- 高齢者ができる限り健康で自立した生活を送ることができるよう、低栄養やロコモティブシンドローム予防をはじめとするフレイル予防の啓発に取り組む必要があります。

### ⑧ 人とのつながり

	項目	基準値	最新値	目標	達成状況
42	地域の人々はお互い助け合っていると思う人の割合の増加	70.2%	51.4%	75%	△
43	「高岡再発見プログラム」コース達成率の増加	55.7% (平成29年)	14.7%	60%	△
44	高岡型地域福祉ネットワークづくりの実施地区数の維持	27地区	27地区	27地区	◎

- ・地域の人々はお互い助け合っていると思う人の割合は減少しています。(項目 No42)
  - ・地域住民相互の付き合いや交流の度合いが減少しています。
- ソーシャルキャピタル醸成が健康に影響するとされており、住民同士が気にかける関係性を育むための「地域づくりへの支援」を重視していく必要があります。

### (3) 生活習慣病の重症化予防

#### ① がん

	項目	基準値	最新値	目標	達成状況	
45	がん検診受診率の向上	肺	28.7%	34.6%	50%	○
46		胃	23.8%	29.9%		○
47		大腸	27.4%	33.4%		○
48		子宮	26.9%	30.2%		○
49		乳	26.5%	33.1%		○
50	がん検診精密検査の受診率の向上	肺	87.3%	90.6%	100%	○
51		胃	97.2%	92.9%		△
52		大腸	84.7%	79.7%		△
53		子宮	100.0%	96.8%		△
54		乳	93.7%	92.1%		△

- ・がん検診受診率は向上しています。(項目 No45～49)
  - ・がん検診精密検査の受診率は、減少しており、なかでも大腸がんは受診率が低くなっています。(項目 No50～54)
- がん検診や精密検査受診率向上のため、個別受講勧奨の方法、様々な機会を捉えた市民への働きかけについて、一層の工夫が必要です。

## ② 循環器・糖尿病・慢性閉塞性肺疾患

項目			基準値	最新値	目標	達成状況	
2 循環器	55	特定健康診査の受診率の向上	-	53.2% (平成27年)	59.4% (令和3年)	増加	◎
	56	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の減少(40～74歳)	男性	42.0% (平成27年)	47.0% (令和3年)	減少	△
	57		女性	15.2% (平成27年)	17.3% (令和3年)	減少	△
3 糖尿病	58	HbA1cが5.6%以上または空腹時血糖100mg/dl以上の人の減少(40～74歳)	-	60.5% (平成27年)	67.6% (令和3年)	減少	△
	59	HbA1cが8.4%以上または空腹時血糖160mg/dl以上の人の減少(40～74歳)	-	1.6% (平成27年)	1.6% (令和3年)	減少	△
4 COPD	60	COPDについての知識を持つ人の割合の増加	-	16.4% (平成30年)	12.7%	増加	△
	61	喫煙率の低下(再掲)	男性	31.2%	23.3%	27%	◎
	62		女性	4.7%	4.8%	3%	△

- ・全国健康保険組合富山支部と国民健康保険のデータを合わせた分析によると、HbA1cの有所見者の割合が、県内市町村に比較して有意に高いです。
- ・メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合は増加しています。(項目 No56、57)  
→生活習慣病予防に向けた望ましい生活習慣を継続して実践できるよう支援していくことが必要です。

## (4) 住む人が健康になるまちづくり

項目			基準値	最新値	目標	達成状況
1 栄養・食生活	63	健康寿命日本一応援店登録数(高岡市分)の増加(累計)	32施設	41施設	増加	◎
	64	農産物直売所及びパソコンショップの設置数の増加	21カ所	25カ所	維持	◎
2 運動しやすい環境の整備	65	地域健康づくり推進懇話会歩こう会の参加延人数の増加	2,750人	1,005人	増加	△
3 受動喫煙	66	「とやま受動喫煙防止ステッカー」申請施設数(高岡市分)の増加(累計)	37施設	51施設 (令和3年)	増加	◎
4 職場におけるこころと身体の健康づくり	67	健康経営に取り組むことを宣言する「健康企業宣言」を行う企業の増加	26事業所	161事業所	増加	◎
	68	ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定数の増加	33事業所	72事業所	増加	◎
	69	ワーク・ライフ・バランスの実現度(就学前)の向上	56.7%	37.5%	60%	△
5 健康情報の提供体制整備	70	スマートフォン用子育て情報提供アプリ(ねねットたかおか)の登録者数の増加	854人	2,416人	9,000人	○

- ・地域健康づくり推進懇話会歩こう会の参加延人数は、コロナ禍も影響し、基準値から減少しています。(項目 No65)
- ・子育てアプリ(ねねットたかおか)の登録者数は増加しています。(項目 No70)  
→子育てアプリ(ねねットたかおか)などを活用し、若い世代から取り組む健康づくりを後押しできる体制づくりが必要です。

## 2 本市の現状を踏まえた課題

- (1) 食生活の悪化や肥満の人の割合の増加、喫煙者の割合が依然県内市町村に比較し高い状況から、青壮年期では、望ましい生活習慣を持つ人の割合が低く、改善がみられないため、引き続き、学校や職域等と連携した取組が必要です。
- (2) がん(特に胃がん、大腸がん、乳がん)、脳血管疾患の死亡率が高い(標準化死亡比100以上、人口10万人対死亡率)、HbA1cの有所見者の割合が県内市町村に比較し有意に高い状況等から、生活習慣病重症化予防の取組を強化する必要があります。
- (3) 少子高齢化や核家族化、後継者不足、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、社会や地域とのつながりが弱まりつつあるため、つながりを持つことができる環境を整備し、健康目的に特化しない社会参加も含めて促進することが重要です。